秀明改

編　集
アンチカルト編集室
発行所
家族を新興宗教から守ろう
fujiyahoko@excite.co.jp

リセット

秀明会ＯＢが作っている秀明信者のためのページもご覧下さい

ＭＩＨＯ美術館とカタールのプリンスの二者がこの像を購入しようと競ったため価格が競り上がり、最終的にＭＩＨＯ美術館が手に入れた時の価格は１５０億円に及んだという話が伝わっている。競り負けたこのプリンスは後日ＭＩＨＯ美術館を訪れ、その像だけじーっと凝視したあげく物も言わずに帰ったとのことである。

ホルス神像

150億円

紙面右下に掲載されている亀の置物をよく見て頂きたい。これはＭＩＨＯ美術所蔵の骨董品、「シルバーの亀」です。

この亀の置物一個の値段がいくらかご存じでしょうか？　なんと●●●億円。●●●億円です。

まともな神経をもっている信者であれば、この不当に高額な値段を聞いて、平静を保つことはできないでしょう。なぜなら、秀明会は、宗教法人であり、信者からの献金で運営されている団体だからです。信者が汗水流して稼いだ収入の中から捻出した献金です。それも、自分の生活を切り詰めて。それがガラクタの亀を買うのに、●●●億円も垂れ流したのです。この亀に●●●億円の価値が無いことは素人の目にも明らかです（ホルス神像は一五〇億円でした。）

●●●億円という額は、桃の実献金（一〇〇万円）●万個分です。●万人の桃の実献金を価値の無いガラクタ購入に垂れ流す秀明会。なぜ、信者の信頼を裏切るような背任的行為ができるのか？答えは、小山家にとって、信者の献金は所詮他人の金だからです。信者が日々、どういった苦労をしてお金を稼いでいるのか、「信者は奴隷」にも書かれていた通り、男爵家の末裔である小山家の人たちには理解できないのです。家柄が違うのです。

秀明会では、献金することによって、地上天国が完成し、献金をした人は、お徳を積むことができ、霊界で救われるといいます。しかし、価値の無いガラクタの亀を●●●億円で購入することによって、地上天国が完成することはありえません。素性の知れない美術品ブローカーに騙し取られるであろうお金を献金して、なんで、霊界で救われるのですか。

なお、この亀の●●●億円の支払いについては、当時の幹部会の承認を得ており、弘子会長もはっきりと同意されています。

この●●●億円の亀を見て感動できる人は、これからも一生秀明会に献金を続けるといいでしょう。

信者の皆さんの

自分で稼いだお金じゃないから、いくらでも平気だよ

献金で買いました

シルバーの亀

●●●億円